

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第八小学校通学区域
開催日時	平成26年11月6日(木) 午後7時から8時45分まで
会場	残堀・伊奈平地区会館 集会室
参加者	市長の出席(有 一 無) 市民13名、地域担当職員3名、 社協職員2名 合計18名(うち男性 14名 女性 4名)
(議題等)	
1	第八小学校通学区域を活性化させる取組について (各グループで討議内容の具体的方策について検討し発表)
2	今後の進め方について
3	次回の開催日について
4	その他
(会議の内容)	
議題1 第八小学校通学区域を活性化させる取組について	
(各グループで討議内容の具体的方策について検討し発表)	
1	Aグループ
(1)	残堀川の環境保護及び清掃に関わり、地域の連携を築く。子どもたちのボランティアの推進をはじめ、武蔵村山高校の動植物の観察会、各団体の炊き出し等との連携を図る。 本年度の残堀川クリーンアップ作戦(11月8日(土))にAグループで参加してみる。
(2)	防犯活動において、八小コミュニティスクール、自治会等と連携し、横のつながりを築く。まずは、市の防災安全課が、防犯活動を実施している団体に招集をかけ、年2回程度、代表者が集まり、情報共有を行い、連携について話し合う。今後、市の防災安全課と連携し、各団体を招集するに当たっての理念づくりを行う。初回は市の主導で行うが、2回目以降は、本会議が主導する。 AEDを扱うことができる人の共有を行い、緊急時に1分でも早い蘇生を行う。
2	Bグループ
	お祭りを開催したい。団体間の連携強化を目的として、八小の秋祭りに出店する。コミュニティスクールと協力し、何をどのように進めるのか検討する。 地域の連携については、今後検討を進める。
3	Cグループ
(1)	当初、挨拶運動を考案したが、学校教育の現場では犯罪に巻き込まれる恐れを踏まえ、知らない人との会話を抑制している。大人同士の挨拶についての具体的方策も見い出しづらい。啓発ポスターの効力も疑わしい。顔と顔を合わせられる場の創出が必要である。
(2)	参加する事業
ア	八小祭り
イ	残堀川クリーンアップ作戦
	11月の第2週は、様々な事業と重複するため、6月に開催される青少対クリーン作

<p>戦と同時に開催できることが望ましい。各団体に参加してもらい、PTAにグループをつくってもらなど、子どもが参加しやすい事業とする。</p>
<p>4 その他（意見交換）</p>
<p>(1) 一つ一つの事業終了後の展開を考えていかなければならない。次にどうつなげるのか、地域内の連携をどう進めていくのか検討する必要がある。祭りと他の事業とのジョイントも一つの方法である。クリーン作戦の後に、芋煮会や炊き出し等があってもよい。そこで交流が生まれる。</p>
<p>(2) 本会議の会員は、様々な事業に参加しながら、地域内のコーディネート役を果たす必要がある。</p>
<p>(3) 顔を合わせる場の創出が、あいさつができる関係を生む。</p>
<p>(4) 各団体が行っている夜間の巡回は、各団体が人数を出し合って合同で行う試みも有効である。</p>
<p>議題2 今後の進め方について</p>
<p>各グループから出された意見を踏まえ、役員会で検討し、次回の会議で提案し、方向性を決定するものとする。</p>
<p>議題3 次回の開催日について</p>
<p>平成27年2月5日（木）</p>
<p>（次回予定）</p>
<p>日 時 平成27年2月5日（木） 午後7時から</p>
<p>会 場 残堀・伊奈平地区会館 集会室</p>
<p>議 題 等 第八小学校通学区域を活性化させる取組について（とりまとめ）</p>